

小学校35人学級への移行、 教室の不足見込みと今後は



林 美希

問 小学校全学年35人学級へ。教員や普通教室の確保が課題となると考えられるが、年齢別未就学児人口から教室の不足が見込まれる学校は。

答 美南小学校の教室数の不足が見込まれる。

問 不足教室数、不足するペースなど具体的には。

答 あくまで現人口ベース・特別支援教室が5クラスという前提になるが、現在42教室。教室転用を図り第二音楽室設置をした上で45教室確保。R5年度2教室、R6年度3教室不足の見込み。

問 普通教室が確保できたとして、一学校48クラスの学校運営は可能なのか。

答 中庭や特別教室の活用のシミュレーションをした上で、やりくりできるだろうと学校から回答をいただいている。

問 複合施設のメリットは大いにあったが、教室不足が見込まれるのであれば複合施設の解消と近場への移転を検討する必要があるのでは。

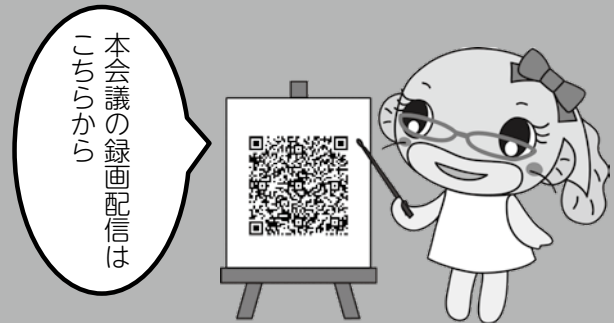
答 学校、地域にとって最適な形を検討していく。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



市民の移動の確保へ 公共交通計画のあり方検討



降旗 聡

問 「市民の移動を確保する地域公共交通のあり方について」タクシー利用料金助成事業検討委員会でも、地域公共交通に関する計画の策定について指摘を受けている。①今後10年間のタクシー利用料金助成事業の予算の推移。②チケットの額面を少額にし、バスでも使える公共交通利用料金助成事業への転換について。③地域公共交通に関する計画の策定について、市の見解は。

答 ①高齢者の人口推計と世代ごとの運転免許保有率などを勘案して試算。今後5年後までに関係経費は約3割程度増加し、その後の5年から10年はほぼ横ばいで推移する見込み。②本事業は路線バスの補完を目的として、交通利便性の比較的低い地域の方を対象にしていることから、転換は難しいと考えている。③令和2年11月に持続可能な旅客輸送サービスの提供の確保などを目的として改正された「地域公共交通活性化再生法」が公布された。市としては、今回の法改正の趣旨を踏まえ、有識者や事業者などとの公共交通全般に関する意見交換などを通じて、計画のあり方を検討したいと考えている。

小中学校体育館照明のLED化 校庭の夜間照明について



成本 直寛

問 体育館照明をLED化すると、明るい、省エネ、長寿命、瞬時に点灯・消灯など多くのメリットが考えられる。今後、市内小中学校体育館照明をLED化する計画はあるか。

答 現在、吉川中学校を除く11校が水銀灯であるが、2020年以降、水銀灯の生産が中止となり、今後、交換が困難になると予想される。こうした事態により学校活動に支障をきたさないよう、照明器具に関する状況を注視しながら対応したい。

問 秋～冬にかけては日が落ちるのが早く下校時には周辺が真っ暗になってしまうため周囲の安全確保、また、部活動や学校開放においても夕方や夜間に校庭でスポーツができるよう照明をつけてほしい等の声が届いている。スポーツの機会を増やすため、非常時の避難場所の十分な照明確保の観点等から今後校庭に夜間照明設備を設置していく計画はあるか。

答 利用団体からの要望・利用実績・避難場所となっていることを考慮し、設置に関して求められる機能や課題等を整理すると共に、関係部署と連携をしながら研究していきたい。